

平成20年茨城県内各港の港勢（速報）

はじめに

「港湾調査」は、統計法（昭和22年3月26日法律第18号）に基づく港湾調査規則（昭和26年3月10日運輸省令第13号）により調査対象港湾で取り扱われる貨物量につき、各月及び各年を調査期間として行われるものです。

今回の発表数値は、平成20年1月から12月までを調査期間とし、県内の重要港湾[鹿島港、茨城港（日立港区、大洗港区、常陸那珂港区）]について港湾課において取りまとめたものです。

なお、この数値は速報値であり、数字の単位未満は四捨五入しているため、合計の数字と内訳の数字が一致しない場合があります。

各港の取扱貨物量

1 重要港湾[鹿島港、茨城港（日立港区、大洗港区、常陸那珂港区）]計

総取扱貨物量	89,482千トン	外 貿	46,233千トン (輸出 4,659千トﾝ 輸入 41,574千トﾝ)
		内 貿	43,249千トン (移出 24,798千トﾝ 移入 18,451千トﾝ)
内公共埠頭分	25,174千トン	外 貿	2,948千トン (輸出 566千トﾝ 輸入 2,382千トﾝ)
		内 貿	22,226千トン (移出 10,978千トﾝ 移入 11,249千トﾝ)

平成20年における県内重要港湾の総取扱貨物量は89,482千トンで、前年より369千トンの増となった。外貿が46,233千トンで前年より1,251千トンの減、内貿が43,249千トンで前年より1,620千トンの増であった。

外貿について輸出入別にみると、輸出が4,659千トンで前年より897千トンの増、輸入が41,574千トンで前年より2,148千トンの減となった。

内貿について移出入別にみると、移出が24,798千トンで前年より182千トンの増、移入が18,451千トンで前年より1,438千トンの増となった。

公共埠頭における取扱貨物量は、前年より1,148千トン増の25,174千トンとなっている。

公共埠頭における外貿は2,948千トンと前年より543千トンの増、内貿が22,226千トンで前年より605千トンの増となっている。

外貿について輸出入別にみると、輸出が566千トンで前年より175千トンの増、輸入が2,382千トンで前年より368千トンの増であった。内貿について移出入別にみると、移出が10,978千トンで前年より348千トンの増、移入が11,249千トンで258千トンの増となった。

2 鹿島港

総取扱貨物量	65,013千トン	外 貿	43,037千トン
		(輸出	4,236千トッ 輸入 38,801千トッ)
		内 貿	21,976千トン
		(移出	14,103千トッ 移入 7,873千トッ)
うち公共埠頭分	2,854千トン	外 貿	1,768千トン
		(輸出	170千トッ 輸入 1,598千トッ)
		内 貿	1,086千トン
		(移出	357千トッ 移入 729千トン)

平成20年の総取扱貨物量は、前年より205千トン減の65,013千トン(前年比99.7%)であり、このうち外貿貨物量は43,037千トンで前年より1,308千トンの減(前年比97.1%)、内貿貨物量は21,976千トンで前年より1,103千トンの増(前年比105.3%)であった。

外貿貨物のうち、輸出貨物量は前年より812千トン増の4,236千トン(前年比123.7%)で、主要取扱品種は鋼材、砂利・砂であった。輸入貨物量は前年より2,119千トン減の38,801千トン(前年比94.8%)で、主要取扱品種は鉄鉱石、石炭であった。

内貿貨物のうち、移出貨物量は、前年より198千トン減の14,103千トン(前年比98.6%)で、主要取扱品種は鋼材、石油製品であった。移入貨物量は前年より1,301千トン増の7,873千トン(前年比119.8%)で、主要取扱品種は重油、石灰石であった。

鹿島港の総取扱貨物量のうち、公共埠頭における取扱貨物量は、前年より534千トン増の2,854千トン(前年比123.0%)であり、このうち外貿貨物量は1,768千トンで前年より445千トンの増(前年比133.7%)、内貿貨物量は1,086千トンで前年より89千トンの増(前年比108.9%)であった。

外貿貨物のうち、輸出貨物量は前年より99千トン増の170千トン(前年比238.3%)で、主要取扱品種は砂利・砂、鋼材であった。輸入貨物量は前年より347千トン増の1,598千トン(前年比127.7%)で、主要取扱品種は非金属鉱物、動植物性製造飼肥料であった。

内貿貨物のうち、移出貨物量は前年より24千トン減の357千トン(前年比93.8%)

で、主要取扱品種は鋼材，化学肥料であった。移入貨物量は前年より112千トン増の729千トン（前年比118.2%）で、主要取扱品種は砂利・砂，動植物性製造飼肥料であった。

3 茨城港日立港区

総取扱貨物量	5,976千トン	外 貿	640千トン
		(輸出	71千トッ 輸入 569千トッ)
		内 貿	5,336千トン
		(移出	2,679千トッ 移入 2,657千トッ)

平成20年の総取扱貨物量は、前年より146千トン増の5,976千トン（前年比102.5%）であり、このうち外貿貨物量は640千トンで前年より38千トンの増（前年比106.3%）、内貿貨物量は5,336千トンで前年より108千トンの増（前年比102.1%）であった。

外貿貨物のうち、輸出貨物量は前年より40千トン増の71千トン（前年比229.7%）で、主要取扱品種は完成自動車，非鉄金属であった。輸入貨物量は前年より2千トン減の569千トン（前年比99.6%）で、主要取扱品種は完成自動車，非金属鉱物であった。

内貿貨物のうち、移出貨物量は前年より145千トン増の2,679千トン（前年比105.7%）で、主要取扱品種は完成自動車，再利用資材であった。移入貨物量は前年より38千トン減の2,657千トン（前年比98.6%）で、主要取扱品種は石油製品，完成自動車であった。

4 茨城港大洗港区

総取扱貨物量	14,135千トン	内 貿	14,135千トン
		(移出	7,195千トン 移入 6,941千トン)
内フェリー貨物量	14,116千トン	内 貿	14,116千トン
		(移出	7,186千トン 移入 6,930千トン)

平成20年の総取扱貨物量は、前年より293千トン増の14,135千トン(前年比102.1%)であった。

内貿貨物のうち 移出貨物量は前年より172千トン増の7,195千トン(前年比102.5%)、移入貨物量は前年より120千トン増の6,941千トン(前年比101.8%)であった。

大洗港の総取扱貨物量の99.9%を占めるフェリー輸送貨物は、前年より300千トン増の14,116千トン(前年比102.2%)であった。

5 茨城港常陸那珂港区

総取扱貨物量	4,359千トン	外 貿	2,557千トン
		(輸出	352千トン 輸入 2,205千トン)
		内 貿	1,801千トン
		(移出	821千トン 移入 980千トン)
内コンテナ貨物量	160千トン	外 貿	101千トン
		(輸出	7千トン 輸入 93千トン)
		内 貿	60千トン
		(移出	13千トン 移入 47千トン)

平成20年の総取扱貨物量は、前年より136千トン増の4,359千トン(前年比103.2%)であり、このうち外貿貨物量は2,557千トンで前年より19千トン増(前年比100.7%)、内貿貨物量は1,801千トンで前年より117千トンの増(前年比107.0%)であった。

外貿貨物のうち、輸出貨物量は前年より45千トン増の352千トン(前年比114.6%)で、主要取扱品種は産業機械、完成自動車であった。輸入貨物量は前年より26千トン減の2,

205千トン（前年比98.8%）で、主要取扱品種は石炭，非鉄金属であった。

内貿貨物のうち，移出貨物量は前年より62千トン増の821千トン（前年比108.2%）で，主要取扱品種は完成自動車，産業機械であった。移入貨物量は前年より55千トン増の980千トン（前年比106.0%）で，主要取扱品種は完成自動車，紙・パルプであった。

常陸那珂港の総取扱貨物量のうち，コンテナによる取扱貨物量は，前年より54千トン増の160千トン（前年比150.4%）であり，外貿コンテナが前年より30千トン増の101千トン（前年比142.6%），内貿コンテナが前年より24千トン増の60千トン（前年比165.7%）である。

また，コンテナの取扱個数は25,236TEU（前年比129.8%）であった。

主なコンテナによる取扱品種は，輸出で染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品，非鉄金属，輸入で紙・パルプ，非金属鉱物で，移出で紙・パルプ，産業機械，移入で染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品，産業機械であった。